

ひがしの子

令和3年4月12日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 藤井 佐由美

ご入園・ご進級おめでとうございます。



ご入園・ご進級おめでとうございます。

やわらかな春の日差しを浴びて、小川の水もぬるむころとなりました。

園庭には、チュウリップやパンジー、カリンの花がきれいに咲いています。畑にはジャガイモやタマネギ、イチゴなどが、子どもたちに食べてもらう時を心待ちにしながら大きくなってきています。幼稚園の隣の田んぼには、紫色のれんげ畑が一面広がり、思わず飛び込みたくなる雰囲気醸し出しています。うさぎの「みいちゃん」も、早くみんなと遊びたいと毎日元気に走り回っています。

この自然豊かな人情味のある長森東の地に、岐阜東幼稚園があることは、とても素敵なことだと実感します。長森東地区には、『汎愛』という言葉があります。『汎愛』とは、「分け隔てなく、広く平等に愛すること」という意味があるようです。

幼稚園教育において、大切にしたいことは、「ありのままの自分を愛し、互いに認め合える豊かな関係づくりを育むこと」であると考えています。

これからの未来を創る子どもたちには、「自分を大切にする」、「人を大切にする」ということを軸に、幼稚園生活の中で、自ら考え、行動する力を身につけてほしいと願っています。

そのために、私たち職員は、それぞれの持ち味を生かしながら手を取り合い、かけがえのない子どもたちと、一日一日を大切にかかわり合っていきたいと思っています。

今年度は、3歳児の新入園児9名に加え、4歳児3名の新しいお友だちが岐阜東幼稚園に仲間入りしました。こあら組（年少）9名、なつめ組（年中）13名、たいよう組（年長）18名、合計40名の子どもたちとその保護者の方々と16名の職員（兼務職員も含）で、令和3年度の岐阜東幼稚園がスタートします。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

文部科学省が出している幼稚園教育要領には、『幼児期における教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする』とあります。そして、私たち教師は、子どもたちとの信頼関係を十分に築き、子どもたちが身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、試行錯誤し

たり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方、考え方を生かし、子どもたちと共によりよい教育環境を創造するように努めることが求められています。こうしたことを踏まえ、次のことを重視して教育に当たっていきたいと考えます。

◇子どもたちの主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるように努めていきます。

◇子どもたちの自発的な活動である遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習です。遊びを通しての指導を中心として、総合的な発達を促していきます。

◇一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うように努めます。

しかし、これらのことは、私たち職員だけでできることではありません。幼児期の教育は、大きくは家庭と幼稚園で行われるからです。両者が連携し、連動して、一人一人の育ちを促すことが大切ですから、保護者の皆様、幼稚園の教育活動にご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、コミュニティ・スクールとしての機能を生かし、地域の方々とも連携、協働して、子どもたちの健やかな成長を促していきましょう。

岐阜東幼稚園では、こんな子どもたちの姿を願っています。

【教育目標】

『やさしい心で、なかよく力いっぱい遊ぶ子』

- ◎自分でできることは自分でする子（自立・生活習慣）
- ◎美しいことに感動し、思いやりのある子（情緒・情操）
- ◎見つけたり、工夫したり、創り出していける子（自発・意欲）
- ◎友達と一緒に遊ぶ子（社会性）

《4月の保育について》

【3歳児】

○幼稚園に喜んで登園する。

○保育室を覚えたり、先生に親しんだりして幼稚園に慣れる。

初めての集団生活は、3歳児にとって社会への第一歩です。

新しい環境に慣れるには、時間がかかりますが、寄り添って共に過ごすことが、一番の近道です。登園時は手をつないだり、自然の様子を見たりしながら、気持ちをほぐしていきましょう。

保護者から離れられない子や泣いている子は、無理に離すことはしません。保護者の方にも一緒に過ごしていただき、焦らず、慌てず（教師も保護者も）、その子のペースで幼稚園に慣れていってほしいと思います。お子さんの姿に、保護者の方が不安になることがあるかもしれません。他の子どもと比べたりせず、我が子を信じて、お子さんの前では笑顔で受け止めてくださるとよいと思います。

まずは、先生の顔や名前、保育室、トイレの場所を知ったり、自分のマークがついているロッカーや靴箱の位置を覚えたりすること、幼稚園の生活の仕方がわかるようになることで、幼稚園に慣れていくことができます。そのことが、子どもたちにとっての安心につながります。



時間をかけて、丁寧に援助していきたいと思います。

【4歳児】

○新しい環境に慣れ、安心してやりたい遊びを見つけ遊ぶ。

○入園・進級したことを喜び、友達や先生に親しむ。

進級し、新しい保育室、新しい担任と生活することに期待したり、不安に思ったりするなど、お子さんによって様々な姿があります。中には、保護者から離れられない子もいるかもしれません。登園時に少しの間、一緒に居ていただくこともあるかもしれません。ご協力をお願いします。

登園してからシール帳にシールを張ることに興味をもったり、新しい保育室の環境に期待感を抱いたり、久しぶりに友達と遊ぶことを喜んだりする姿が見られます。

今までに経験した生活の仕方を土台に、新しい生活の仕方やきまりなどを担任と一緒に決めたり確かめたりしていきます。一つ大きくなったという喜びや自信を大切にしながら、年中の生活をスタートさせたいと思います。

製作やままごと、固定遊具やボール遊びなど体を動かす遊び、春の草花や虫を見つけたり飼育物に触れたり、昨年度植えたいちごの収穫をしたりするなど自然に触れる遊びなど、自分の好きな遊びを十分楽しめるようにしていきたいと思います。

【5歳児】

○年長になった喜びを感じ、新しい生活環境に慣れ、身の回りのことを自分で整える。

○友達を誘い合って、戸外で思い切り体を動かして遊んだり、春の自然に親しんだりする。

新しい担任や2階の保育室での生活などに関心を示したり、年長になったという喜びを感じたりする子もいれば、緊張感や戸惑い、不安を感じる子もいます。担任と一緒に、生活の場を使いやすく整えたり、自分たちの生活の仕方や約束を決めたりしていきたいと思います。

憧れの「年長：たいよう組」になったという気持ちを受け止め、やりたい遊びができるように、また体を動かしたり、春の自然に親しんだりする遊びを十分経験できるようにしていきます。

飼育当番をしたり、片づけ（年少児の分も）や年少児のお世話をしたり、プレゼントを作ったりすることなどを通して、年長になった喜びを感じることを思います。

年長児としての喜びと誇りを感じられるような援助をしていきたいと思っています。



お知らせ・お願い

本日は多くの通信を配布しました。お知らせやお願い、提出していただくものなどがたくさんありますので、よく読んでいただきますようお願いいたします。

☆通信などの取り扱いについて

幼稚園から配布する通信や当番表には、お名前や園児の写真を掲載することがあります。そのままの形で家庭ごみや資源回収に出すことがないように、取り扱いには十分にご配慮ください。よろしくお願い致します。

☆名札の着用について

登降園時や幼稚園に来園される時は、本日配布した保護者用の名札を必ず着けてください。送迎の方が代わる場合も同様に、名札を着けてください。また、その旨担任までお知らせください。

☆岐阜東幼稚園はコミュニティ・スクールです。これは、幼稚園と保護者、地域の皆さんがともに意見を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長をささえる仕組みです。今までも地域の方には、幼稚園行事（餅つき・夏祭りなど）でお力をお借りしたり、保護者の方には保育参加、おじさんと遊ぶ週などでご参加いただいたりしています。それを継続しながら、子どもたちの学びや体験がさらに豊かになるよう、考えていきたいと思っております。今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。 *コロナ禍においては、中止や延期の措置をとることがあります。

☆登園について

登園時間は8：40～9：00となっています。それ以前に幼稚園に来られた場合、職員は、保育の準備や清掃をしていますので、一緒にお待ちいただき、時間になったらお子さんを直接担任、職員に手渡すようお願いいたします。

朝、用事があり、8：40以前になってしまう場合は、その旨、担任までお知らせください。